

## 保育計画成果報告書

法人名	学校法人 純真学園
施設名	純真保育園
報告者（役職）	野崎裕子（主任保育士）
住所・連絡先	福岡県福岡市南区筑紫丘 1-3-1
	☎ 092-553-5593
	E-mail j.hoikuen@junshin-c.ac.jp

### ○タイトル（保育計画）

・絵本を通しての親子の絆 ・絵本を通して、保育士が伝えたいこと

### ○主な助成備品

・絵本、図鑑 ・本棚

## 1. 実施した保育計画策定の目的

保育園の保護者は、仕事と家庭生活（子育て）の両立をしていく中で、乳幼児期が人間形成の大事な時期として、母親との触れ合う時間の大切さを考慮し、子どもが就寝するまでの短い時間の中で、親子の絆をしっかりと結び深めていく手段の1つとして絵本を活用してもらいたいということを目的としました。

また、保育士が、いろいろなジャンルの本を読み聞かせすることにより、心が育つこと、集中力、探究心などが培われていくことを目的としました。

近年の社会の状況の中から、ものを大事にすること、また絵本の取扱いについて親子で考える機会を持ってもらいたいという意図も含めています。

## 2. 具体的な実施内容

“純真の絵本バック”を準備し、親子で絵本選びをして毎日1冊の貸出をしました。また、保育士は、毎日の時間の区切りには、絵本の読み聞かせをし、行動の区切りを明確にし、物事に“けじめ”をつけることの大切さを実施しました。よって、一日に5冊以上の絵本の読み聞かせを実施してきました。

また、活動の時間の中でも、自分で絵本読みをする時間を設けました。自分で絵本を選ぶこと、自分で物事を考えることの大切さなどを実施しました。

看護学生の絵本の読み聞かせの保育ボランティアの受け入れをし、たくさんの人との交流の時間をもちました。また、学園内の短期大学のこども学科が併設されているため、保育実習などでも、絵本を読み聞かせる時間をもちました。

### 3. その成果と評価

保護者の子どもとの触れ合い方や、会話の中から、絵本を通して、就寝前の時間を上手く使って、子どもとの心と結びつきが深いことが窺われ、“今”のこどもの姿をしっかりと見つけていることがわかります。

また、保育園の年中、年長児になると、少し、高度な図鑑などを見ることによって、子どもの興味が幅広くなり、探究心も深くなってきました。

絵本の読み聞かせを持続することにより、人の話を静かに聞くこと、集中力が増してきました。絵本が身近なものとして存在することは、自然と文字を覚えることにもつながってきました。

### 4. 今後の課題と展望

本園の子どもたちは、絵本を通して、この一年間が充実したものとなりましたが、開園して日が浅く、地域の子育て中のお母さんたちに支援ができていない状況にありました。

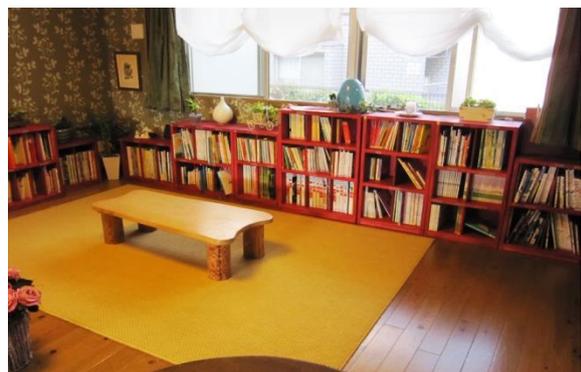
これからは、地域の子どもたちにも、絵本の読み聞かせをする時間を設け、さらには、保育園の子どもたちと同様に、絵本の貸出をして、地域の人たちとも関わりも持っていきたいと考えています。

そして、地域に密着した保育園を目指していきたいと思っています。

#### “純真絵本バック”と“絵本貸出簿”



#### “絵本の部屋”



以上